

教育実習体験談

Question

＜教育実習全般について＞

- ① 学校区分
- ② 生徒の様子、学校の特徴
- ③ 1日の流れ
- ④ 授業以外の仕事で体験したこと
- ⑤ 学校内の生活において工夫したこと
- ⑥ 実習を通して楽しかったこと、大変だったこと
- ⑦ 反省点や困ったこと
- ⑧ 実習での一番の思い出
- ⑨ 教育実習で得たものや、教員の仕事に対して感じたこと等、教育実習を振り返って思い浮かぶこと
- ⑩ 今後、教育実習に行く方へメッセージをお願いします。

A student teacher no.1

- ① 私立中高一貫校/高校一年生を担当
- ② 生徒の様子はクラスによってばらつきがあるものの比較的社交性のある生徒が多く学校の雰囲気も教師と生徒の距離がいい意味で近く明るい学校。
- ③ 8時30分からSHRがあり、月、水、金は8時15分から教員による全体朝礼が行われる。授業は火曜日、木曜日に7限があり、他の曜日は6限までの授業。放課後には講習が行なわれている。隔週で土曜日に授業がある。
- ④ 教育実習二週目に文化祭が行われ、放課後に残って練習をしていた生徒たちの努力の成果を見ることができた。
- ⑤ 授業準備は学校では一切やらず、生徒が学校にいる間はなるべく生徒との関わりに時間を使うようにした。授業では、教科担当の先生がたの授業を参考にしつつもなぞり書きはせず、自分のアイデアを授業に反映させた。その上での失敗はよしとした
- ⑥ 相手が高校生であったこともあり実習生の授業に対する熱意を最初は値踏みをしてくる。なので、ただ一時的に楽しいだけの授業は高校生にはあまり反応が良くないため、知的好奇心や競争心を煽るような工夫が必要でアイデア作りに苦労した。文化祭の練習

や、日頃積極的に生徒と関わったことが最終的に報われたこと。

- ⑦ 担当含め常勤の先生が実習生に求める授業のあり方や、思想が異なる時があり、妥協しなければならない部分がある。大学で学んできたアクティビティーなどが高校の授業では学校の方針などの都合でよく思われない場合もあるということ。
- ⑧ 文化祭で優勝した時が一番の思い出。練習の過程で何度も生徒同士で喧嘩になり、毎日帰りが夜9時を超えたが文化祭のパフォーマンスが成功し学内優勝をした時に、生徒の多くがお礼を言ってくれ報われた思いがした。
- ⑨ 教師という仕事においての主役はあくまでも生徒であるということ。生徒のために何ができるかを常に考え、それがたとえ報われなくても諦めず努力を怠らない姿勢が大事であるということ。それがない人間にとって教師は最悪のブラック企業だがこれが備わっている人間にとっては天職であると教わった。
- ⑩ 教育実習は、漠然と描いていた教師へのイメージや憧れなどが明確なものへと変わる大事なプロセスです。辛い三週間になるとは思いますが、どんなに大変でも謙虚さと「生徒が真ん中」ということを忘れなければ「とても辛かったけど充実した教育実習だった。」と心から思えるとおもいます。失敗は成功のもとです。恐れず突き進んでください。素晴らしい教育実習になることを願っています。

A student teacher no.2

- ① 私立高等学校1学年アドバンス・国公立クラス。
- ② 生徒は落ち着いていました。家族の関係が悪い生徒や ADHD を持っている生徒など様々な背景を持っている生徒が集まっている印象でした。学校は真面目な雰囲気がありました。
- ③ 6時：登校。教材研究やクラス整備、校門挨拶
8時20分：職員会議
8時40分：ホームルーム
9時：授業
18時：日誌を書く、教材研究
21:30：帰宅
- ④ クラスの子が自分と同じくバスケットボール部に入っていましたので部活に出ました。

- ⑤ 朝にその日使う教材などを全て持って一日過ごし、控え室に戻るロスタイムを減らしました。
 - ⑥ 教育実習生同士で話すこと。スケジュールが一番大変でした。またクラスの生徒との人間関係に苦労をしました。
 - ⑦ あまりにもハードなスケジュールを組むべきではありませんでした。
辛すぎる予定にトラウマになってしまいました。
 - ⑧ 研究授業日に印鑑を忘れたことです。
 - ⑨ 欠点のある自分でも生徒たちは自分を受け入れてくれるのだと気づき自分が教員になることに安心をしました。
 - ⑩ 無理をせず頑張ってください。生徒や同僚との人間関係づくりを楽しみ、時間管理に努め、できる限り楽に仕事ができる工夫をしてください。
-

A student teacher no.3

- ① 私立 高校 第2学年
- ② 生徒は全体的に落ち着いており、真面目で勉強熱心である。挨拶がきちんとでき、身なりもしっかりしている。
- ③ 職員会議で1日が始まり、朝のHR、授業見学や授業実習、帰りのHR、放課後は掃除、部活動見学、自習室のチューター、教材研究など。
- ④ 体育祭のお手伝いで教室整備をした。
- ⑤ なるべく早く生徒の名前と顔を一致させること。
- ⑥ 楽しかったこと：生徒との交流、先生方にお話を伺うこと。
大変だったこと：授業準備、文法説明の仕方。
- ⑦ しっかり教材研究をしたつもりでいたが、もっとやっておけば良かったとも思う。

- ⑧ 授業でほんのわずかな時間だが、自分がやりたい授業や雰囲気を作ることができ、生徒と自然なコミュニケーションができたとき。
 - ⑨ 教育実習を経て、改めて教員になりたいという気持ちが強くなった。大変なことのほうが多かったし、ただ楽しいだけの実習ではなかったが、学ぶことが多く、今後の課題をたくさん持って帰ってこられたので充実した教育実習になったと思う。
 - ⑩ 教育実習に行って、本当に自分が教員を目指すべきなのかどうか確信が持てると思います。教材研究や事前準備を怠らず、「先生」として生徒の前に立つのだということを忘れないでください。たった3週間でも、先生として生徒の人生や学習過程に関わることになります。教育実習を終えたとき、「あー楽しかった。案外楽だったなー。」と思ってしまうような3週間にはしないほしいと思います。教科指導も生徒との関わり方も、たくさん悩んで試行錯誤してください。「苦労したけど頑張ったな」と思える体験にしてほしいと思います。結果的に教員を目指しても目指さなくても、生徒やお世話になる先生方、自分自身に対しても、妥協せず誠実な姿勢で臨んでください。きっと自分だけの貴重な経験になると思います。教育実習を経験した一人として、陰ながら応援しています。
-

A teacher student no.4

- ① 私立高等学校第二学年
- ② 規則が厳しい学校で、生徒は比較的落ち着いていました。
- ③ 出勤簿をつける、校門の前で挨拶、朝会、ホームルーム、授業、お昼、授業、ホームルーム、日誌、教材研究の流れが多かったです。
- ④ 部活を少し覗きに行きました。
- ⑤ 挨拶と生徒に興味や部活、好きなことを話題に話しかけることを意識しました。
- ⑥ 生徒が話しかけてくれたり、授業を分かりやすいといってくれたことです。
- ⑦ 寝てしまう生徒の対応が大変でした。
- ⑧ 放課後生徒が私と話すのを楽しみにしていたことです。

- ⑨ 大勢の前で話すことが出来るようになりました。発音も気にするようになりました。教員の仕事は実習で体験したことに加え校務も入る大変な仕事だと思いました。しかしとても充実した素晴らしい仕事だと思いました。
- ⑩ 挨拶はとても大切なことなので意識したほうがいいと思います。大変ですがかけがえのない体験であり大きな財産に、糧になると思いますので頑張ってください。
-

A student teacher no.5

- ① 公立高校の2学年
- ② 生徒は基本的に落ち着きがあり、話しかけると素直に答えてくれる。学校は行事に力を入れている印象で、実習中にあった体育祭では全ての生徒が盛り上がっていた。
- ③
- | | |
|---------------|-------------------|
| 7時45分 | 学校到着 |
| 8時半 | 朝の打ち合わせ |
| 8時40分 | 朝のホームルーム |
| 8時50分～12時40分 | 1～4時限目の授業 |
| 12時40分～13時20分 | 昼休み |
| 13時25分～15時5分 | 5～6時限目の授業 |
| 15時15分～15時50分 | 帰りのホームルームと清掃 |
| 16時～19時 | 日誌の記入、教材研究、指導案づくり |
- ④ 特になし
- ⑤ 何か言われたら必ずメモを取るようにした。隙間の時間を見つけて板書計画や授業構想を練った。（時間がなかなかタイトなため）
- ⑥ 楽しかったことは、生徒の質問に答えることと、放課後に生徒と世間話をしてもりあがることだった。大変だったことは、時間の管理だった。分刻みのスケジュールなため、隙間時間を見つけ、やることの優先順位をつけて業務を行うことに苦労した。
- ⑦ もっと面白い話を授業中にできたら、生徒を引き付けられたと思った。もっと生徒と話す時間がもてれば関係も深まったと思う。
- ⑧ 思い通りの授業が出来なかったときに、授業を見に来た先生からお褒めの言葉をいただいた時です。それがあったから、気持ちも軽くなり、頑張ろうという気になった。

- ⑨ 教員はやることも多くて苦労することもあるけど、生徒から授業を面白いと言ってくれたときの達成感がある。それはお金にも代えられないくらいのエネルギーになり、教師を奮い立たせる力があると思う。あと、教育実習中は、いかに効率良く作業するかを考えることが大事です。そうしないと時間が足りなくなる。
 - ⑩ 辛いと思ったら我慢しなくていいです。他の実習生や学校の先生もあなたの力になってくれます。あとシリアスに捉え過ぎず、いい意味で「何とかなるさ。」の精神で臨んでください。そうしないと、何も手につかなくなってしまいます。
-

A student teacher no.6

- ① 公立高校 二学年
 - ② 皆活発で、勉強熱心な生徒が多い。進学校ということもあり生徒、教師ともに勉強に熱心で、放課後には希望者のための英検の講座や、夏休みには受験対策として各科目に分かれた講座が開講されている。
 - ③ 朝礼に参加した後、HRを担当。その後は教材研究、観察授業、実践授業のいずれかを基本的には行い、定時までは学校に残り、放課後は部活、教材研究、帰宅のいずれか。
 - ④ 特になし。
 - ⑤ 部活に参加して生徒とのコミュニケーションを図ったこと。
 - ⑥ 朝早いことが大変だった。
 - ⑦ 髪長さ
 - ⑧ 最終日に生徒たちに花束や色紙をもらったこと。
 - ⑨ 教育ということの幅を感じた。勉強を教えるということだけでなく、それ以外の面での教師たちの尽力に感銘を受けた。
 - ⑩ 全力で楽しんで頑張っていた。
-

A student teacher no.7

① 公立 中学 1年

② メリハリのついた生徒が多い。挨拶をしっかりとっていて明るい雰囲気がある。生徒同士で声掛けや注意を行い、高めあっている。協力的。

③ 7時45分 学校到着

8時15分 職員会議

8時30分 朝読 ホームルーム

8時55分 授業開始（50分授業 1～6時間）この時、授業見学や授業実習

放課後 部活見学 校門にて挨拶（最終下校時刻）雑務 手伝い etc...

22時 帰宅

④ 体育祭の準備。課外活動の準備手伝い。プリントチェック。

⑤ 挨拶をしっかりと積極的に動き、自分のやれることをやる。

⑥ 生徒とコミュニケーションをとれ相互理解することができた。行事に携わることができ生徒の笑顔を見ることができ、また、楽しい時間を共有できた。帰宅時間が遅かったのが大変だった。

⑦ もっとはじめてから明るく、生徒とコミュニケーションをとるようにすればよかった。遠慮しすぎないほうがよい。教員方が大変忙しく、うまく意思疎通をとることができなかった。

⑧ 体育祭では一緒に楽しみ、喜ぶことができた。

⑨ 教員の仕事は大変多く、生徒のときにはわからなかった影の仕事があるからこそ、楽しい学校生活が送れていたのだと実感しました。生徒の喜ぶ顔、楽しむ顔を見ることができやる気が出た。コミュニケーションの大切さを感じました。

⑩ 笑顔でまず生徒とかかわり、楽しむことが大切だと思います。
また、なんでも吸収する精神で自ら行動する！
最後には生徒と別れるのが悲しくなります・・・。

A student teacher no.8

① 公立中学校2年生

- ② 落ち着いており、素直な子が多かったが、行事では活気に欠けていた印象です。
- ③ 7:40 までに 登校
8:00 教員打ち合わせに参加
8:20 朝の会
8:40～12:10 授業
12:10～13:25 給食・清掃・昼休み
13:30～授業
15:30 下校または部活動（委員会）
実習生の放課後：日誌を書く、部活動に行く、担当教員と打ち合わせ。
- ④ 清掃
- ⑤ すれ違う生徒や先生に、挨拶をすること。時間厳守。
- ⑥ 楽しかったこと：生徒との交流。先生とは少し違う教育実習生として話しかけてくれるので、生徒との距離が近く、本音を聞くことができました。
大変だったこと：指導案作成。担当の先生がすごく丁寧に私の指導案を見てくださったので、自分の未熟なところが浮き彫りになりました。
- ⑦ 注意の仕方。実習生といえど「教員」として見られるので、生徒と仲良くするだけではなく、時には注意をすることも必要です。特に私みたいに、いつもにこにこしていると生徒は警戒心が薄くなってくるので、言うところはしっかりと行ったほうがいいと思います。
- ⑧ 最終日の担当クラスでの帰りの会です。帰りの会の最中に、電話で職員室に「給食費のことで話がある」と呼び出されました。私は給食費払っていたので「なんで？」と思っていたのですが、その間にクラスの生徒が色紙の準備をしてくれていたようで、急いで教室に戻ると…。
クラスの生徒全員が一斉に起立！！
いきものがかりの「ありがとう」という曲が流れ、
「先生、3週間ありがとうございました！！！！」と同時に色紙を頂きました。
とても嬉しく、「3週間頑張ってよかった」と思いました。
生徒たちは私が泣くのを期待していたようですが、泣けずに大バッシングを食らったこともいい思い出です。

⑨ ・教員の仕事はプライスレスだと思います。私は実習に行って初めて、生徒たちの生活を支えるために、先生たちがこんなにも働いてくれていたことを知り、授業中に寝ていた自分を恥ずかしくなりました。

・生徒に目標を持たせることが大切だと、担当の先生に教えていただきました。
卒業する時に担当の生徒(学年)にどうなっていてほしいか、という目標から逆算して、今やるべきことを生徒たちに伝えていくことで、生徒たちの成長につながると考えます。

⑩ 当たって砕けろ！

どれだけ事前に話を聞いても、実際体験してみないとわからないことが多いです。「百聞は一見に如かず」の精神で、誠意をもって一生懸命取り組むことが大切だと思います。

A student teacher no.9

① 公立/中学/3年

② 明るく元気、挨拶がきちんとできる、学力差が大きい。

③ 8時頃出勤、19時頃退勤

④ 部活動、英語弁論大会の内容添削

⑤ 生徒には積極的に声をかける、挨拶は自分からする。

⑥ 楽しかったことは生徒との会話、大変だったことは先生が病欠で当日にいきなり4コマの授業が入ったこと。

⑦ 模擬授業など練習の時間はとれず、ほぼぶっつけ本番で授業になってしまったこと。

⑧ 何気ない会話を生徒が覚えていてくれたこと。

⑨ 積極的にいろいろな人と関わるのが大切だという気づきを得ました。教員の仕事に対しては、授業以外での仕事の多さが印象的です。

⑩ 授業を上手く進める上で、生徒との関係性を築くことが大切だと思いました。お昼休みや放課後など授業以外での生徒との時間を大切にすると良いと思います。

A student teacher no.10

- ① 中高一貫の私立で実習を行いました。担当は中学校 3 年生です。
- ② スポーツの強い学校なので全体的に活発で明るい校風です。「文武両道」を掲げている学校なので勉強にも力を入れています。生徒はオンオフをきちんと分けて学校生活を送っているように感じました。また先生を始め来校者、清掃員や警備員さん誰に対してもきちんと挨拶ができるのも印象的な学校です。

③ ～8:20 出勤

8:35～ 朝の打ち合わせ

*月～金

*土曜日

8:45～ SHR

8:45～1 時限

9:00～1 時限

9:45～2 時限

10:00～2 時限

10:45～3 時限

11:00～3 時限

11:45～4 時限

11:50～昼休み

(SHR はなし)

12:30～4 時限

12:35～終礼・掃除

13:30～5 時限

13:00～部活

14:30～6 時限

15:30～16:30 or 以降に退勤

15:20～終礼・掃除

→部活有:16:00～17:45 退勤: 18:30～19:00

→部活無: 16:30～17:00 に退勤

- ④ 配布するプリントの準備(印刷や製版)、解答づくり(授業外の課題で使用するもの)
授業のコマ数がもともと少ないこともあり、授業時間外は主に事務作業(授業外の仕事)を体験させて頂きました。この事務作業も基本的には授業のない空きコマで作業を行うので意外と大変でした。
- ⑤ 自分自身に関してはとにかく健康第一！を心がけました。遅刻を避けるため、というのもあったけど毎日 4 時半に起きていました。時間に余裕があると気持ち的にも余裕があるので。学校面では授業外の時間の生徒の様子を観察するために、頻繁に教室に通いました。5 分休みや昼休み、部活動など教室では見られない生徒の様子を見ることで授業のアプローチの仕方を研究する良い材料判断になりました。実習の初日に自己紹介カードを書いてもらったので、それを見ながら一人ひとりの人物像を把握して一日も早く仲良くなれる努力をしました。

- ⑥ 【楽しかったこと】日を重ねるごとに仕事に慣れてきて、おのずと生徒からも「先生！先生！」と声をかけてくれたことです。授業後の質問は勿論、部活動中や下校中、放課後に私を見つけるとすかさずきてくれて、いろいろな話が出来たことがとても楽しかったです。【大変だったこと】常に時間との戦いだったことです。授業準備にしても、事務作業にしても、中学校は50分授業なので50分内にやらなければならない仕事量がとても多く、一秒たりとも休む時間がなかったことです。(まあ、実習中休むなんて考えもちょっと違いますが…)
- ⑦ 授業の初回の頃についてです。あらかじめ自己紹介カードを書いてもらっていたので、比較的顔と名前の一致はしていたのですが、一人ひとりの性格までは把握していませんでした。授業中、特に深い理由もなく指名した生徒が実は発表がすごく苦手な子だったり、デリケートな子だったり…とをもって一人ひとりの「性格」を知っておく必要があったと反省しています。あと、英語に関しては全体的に苦手意識の傾向が強いクラスだったので、疑問を持つ点が鋭く(え、私たち気にしたこともなかった！というような点)で、対応にアタフタしてしまったことがありました。予想外の反応よりさらに予想外の準備をしておいた方が良かったと感じています。あと一度もならずに済みましたが、毎授業「時間が余ったらどうしよう…」としきりに言っていました(笑)
- ⑧ 実習期間の中ごろに校外学習があった時のことです。その校外学習には私の担当学年の実習生は引率しないことがあらかじめ決まっていたのですが生徒はそのことを知らなかったようで、前日のHRで行かないことを伝えると「ええ〜?!?!先生なんで行かないの〜?!?!」とブーイングの嵐が起こったことです。ちょうど生徒たちと馴染み始めていたころでもあったのですが、あんなに残念そうにしてくれた生徒たちの反応や顔を見て私を「一教員」として受け入れてくれていると感じました。後日何人もの生徒がお土産を買ってきてくれたこともすごく嬉しかったです。
- また、最後の日のHRで私が一人ひとりに書いた手紙を手渡し終わったと同時にクラスのみんなから色紙と花束(実習生の中で一番大きい花束でした!)を貰ったのですが、最後の最後でサプライズしてくれたことにとっても感動しました。それまでずっとボーカフェイスだったので、いつ準備してくれていたのかな〜と考えるだけで胸がいっぱいになりました。色紙の中にほとんどの生徒が「授業が分かりやすく面白かった」と書いてくれていたこともすごく嬉しくて、英語の苦手意識が強いクラスだったからこそ、その言葉は何よりの言葉になりました。
- ⑨ 教育実習に行って改めて感じたのが、「教わること」と「教えること」は全く違うということ。当たり前のように受けていた授業も、当たり前に使っていたプリントも、先生方のどれだけの準備があって生徒に伝わるのか、伝えていくのか、授業や事務作業を通じ

て改めて実感しました。教員の仕事は単純に授業をするだけではなく部活動や生活指導、進路指導、やるべきことは沢山あって大変な仕事だと思います。しかし、やりがいはその以上に大きいものだと感じました。それは生徒たちがまっすぐに私たちに向き合ってくれるからです。その気持ちに応えるべく、また私たちのモチベーション、原動力につながっていくのだと感じました。実習生という立場はすごく難しく、大変なこともないことはありません。しかし、実際の現場に入り、授業を行うということにより「教員」としてだけにとどまらず、あらゆる部分で自己成長にもつながると感じています。

- ⑩ いろんな不安や緊張でいっぱいになると思います。私も開始一週間前から緊張して全く寝れませんでした（笑）でも実際現場に入ると毎日沢山の発見があり、充実した面白いことの連続です。もちろん失敗して怒られることもあるので、全てが楽しいことはありません。でも生徒は私たち実習生を温かく受け入れて、私たちから学ぼうとしています。学校の模擬授業では気づけなかったことに沢山気づけます。先程も述べましたが「教員」としてだけにとどまらず、学生時代の自分を反省し、先生の偉大さを知る。あらゆる面で自己成長できるととても貴重な経験です。得るものは人それぞれだとは思いますが「自分が何年後かにこの場に立って授業するんだ！」という気持ちを持って、有意義な実習にしてほしいと思います。

A student teacher no.11

- ① 公立中学3年生
- ② 生徒は挨拶がしっかりできて、明るく仲の良いクラス。
- ③ ・一週目は様々な授業を見学した。空いてるコマは日記指導等を行った。
・二週目は英語の授業を中心に各学年の英語授業を見学し、道徳の授業を行った。
・三週目は HR を行い、3コマ授業を行った。
・空き時間は基本的に日記指導、教材研究を行った。
・放課後は部活動指導を行った。
- ④ HR を行った。
- ⑤ 生徒に積極的に話しかけることを心がけるようにしました。また、朝の挨拶運動に参加し、自分のクラスだけではなく様々な学年と関わるように心がけました。また、給食中は毎日班の子供たちと一緒に食べました。日記指導ではなるべく生徒に寄り添うような書き方をしました。

- ⑥ 給食や授業中に話をしたり、日記指導で生徒の色々な一面を知ることができてよかった。研究授業はとても盛り上がって一番楽しかったです。大変だったことは、HR で話をするのが苦手だったので結構苦労しました。
- ⑦ 教材研究を早めに行い、いろんな引き出しを持っておくといいなと思いました。指導案はなるべく多く、いくつかのパターンで書いておくと後に困らないで済むと思います。
- ⑧ 研究授業はうまくいったとは言えませんが、最後に生徒がきちんと私の授業を聞いてくれて楽しそうに授業をやってくれたことはとてもうれしかったです。給食の時間は生徒の進路相談、世間話、学校や日記を通しての会話などとても楽しかったです。また、歌がうまいクラスだったので合唱を聞くことが好きでした。
- ⑨ 教員の仕事はとても大変なことだと思います。でも根底にあるのはやはり子供の未来のために何かしてあげたい、こうしたらもっとよくなるなど毎日が試行錯誤の連続であると感じました、それでも子供たちの笑顔や成長する姿は3週間共にいてかけがえのないものでした。
- ⑩辛いこともあります、生徒と積極的に関わりを持つことが大切です。成功したいとは考えずにたくさん失敗して研究してより良い実習であるように常に学ぶ姿勢でいればきっと人として成長することができます。